

2019年度

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階
交通環境対策部 TEL:03-3221-7636 FAX:03-3221-6674



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

目次

● エコドライブ活動コンクールとは	1
● コンクール概要	2
● 募集結果	3
● 表彰式	4
● 受賞者一覧(大臣賞～審査委員長特別賞)	5
● エコドライブ優良活動認定事業者一覧	6
● 二次審査応募事業者一覧	7
● 上位受賞事業者の取組事例紹介	
国土交通大臣賞(事業部門)	
茨城流通サービス株式会社	8
環境大臣賞(一般部門)	
ネットヨタ山形株式会社	10
優秀賞(事業部門)	
SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北中央支店迫営業所	12
磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所	14
国際自動車株式会社城南 羽田営業所	16
三重執鬼株式会社 本社営業所	18
優秀賞(一般部門)	
ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社	20
沖縄トヨタ自動車株式会社	22
審査委員長特別賞(ユニーク部門)	
株式会社空知自動車学園	24
一般社団法人日本建設業連合会	25
● エコドライブ活動の基本的な取組事例	26
● 上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介	27

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者を表彰し、その取組み内容を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動取組み内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取組むことが社員の意識向上につながります。

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります。



● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります。

審査項目	極めて優秀	優秀	標準	不十分
(1) 取組体制の整備		●		
(2) 教育の実施			●	
(3) 燃費管理	●			
(4) 活動成果		●	●	
(5) 継続実績と方策		●		
総合結果		●		

コンクール概要

- 主 催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 後 援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)
「エコドライブ普及推進協議会」
(公社)日本バス協会、(公社)全日本トラック協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車運行管理協会、(一社)全国レンタカー協会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(一財)環境優良車普及機構、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募 集 対 象	
事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。 自社の製品等を運搬している場合を含む。
ユニーク部門	エコドライブに関する独自の取組を実施しているさまざまな主体。

- スケジュール：応募期間 2019年5月7日(火)～7月1日(月)
表 彰 式 2019年11月27日(水)開催の「2019年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰

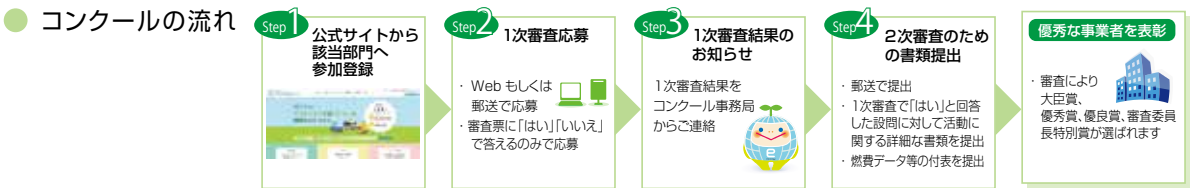
- 審 査：審査は審査委員会(審査委員長:大聖 泰弘 早稲田大学名誉教授)にて実施

1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※ただし、ユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組を評価します。

- 表 彰：国土交通大臣賞(事業部門) 1件
環境大臣賞(一般部門) 1件
優秀賞 6件
優良賞 26件
審査委員長特別賞(ユニーク部門) 2件

- 応募費用：無料



募集結果

●参加数

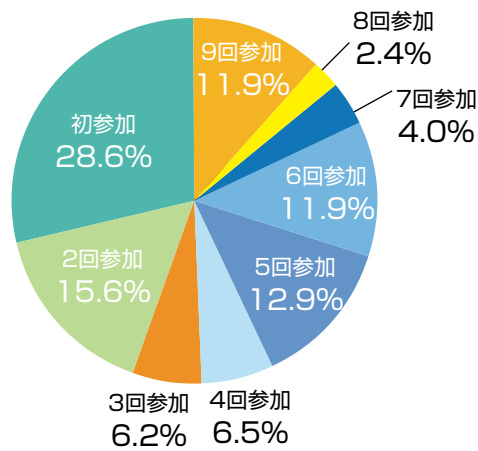
全 部 門

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	375	1,041	61,870	41,409
二次審査	199	650	40,681	26,174

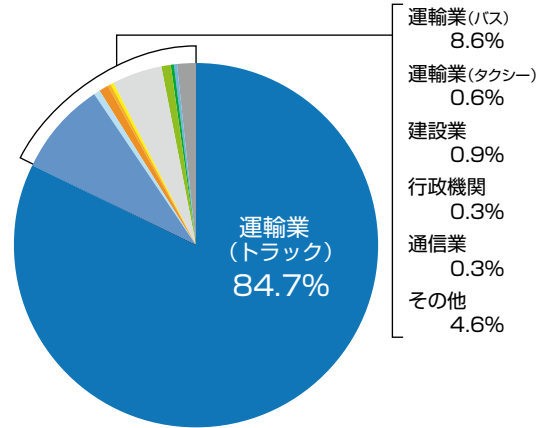
部 門 別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	315	726	46,108	35,835
一般部門	56	300	15,035	5,562
ユニーク部門	4	15	727	12

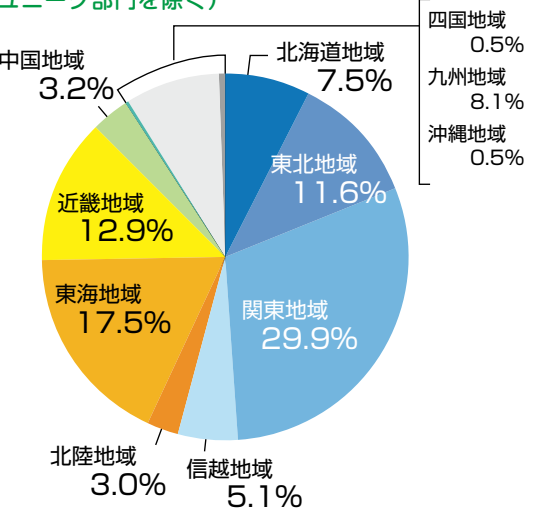
●新規・継続応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



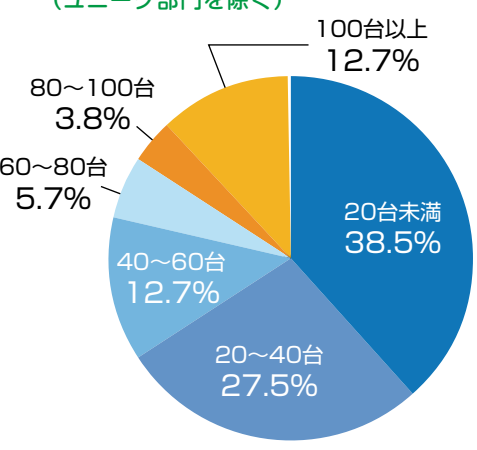
●業種別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



●地域別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



●車両台数別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



表彰式

「2019年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日時：2019年11月27日(水)13:30～16:20
場所：千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)



前列左より (敬称略)
早稲田大学 大聖名誉教授、国土交通省 総合政策局 石井次長、茨城流通サービス(株) 小倉取締役管理部長、ネットヨタ山形(株) 高橋代表取締役社長、環境省 加藤環境大臣政務官、(公財) エコロジー・モビリティ財団 岩村会長
後列左より
(一社)日本建設業連合会 環境委員会温暖化対策部会 高橋部会長、(株)空知自動車学園 高橋代表取締役社長、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株) 清水カスタマーディベロップメントシニアCDエクセレンスマネジャー、沖縄トヨタ自動車(株) 屋比久専務取締役、三重執鬼(株) 本社営業所 寺田代表取締役、国際自動車(株)城南 羽田営業所 原所長、磐城通運(株) 植田支店 火力営業所 阿部植田支店次長 兼 火力営業所所長、SBS三愛ロジ東日本(株) 東北中央支店迫営業所 三浦所長



表彰式(国土交通大臣賞)



表彰式(環境大臣賞)



審査講評



茨城流通サービス(株) 取組紹介



ネットヨタ山形(株) 取組紹介



記念トロフィー

受賞者一覧

: グリーン経営認証取得事業所



国土交通大臣賞



茨城流通サービス株式会社

(茨城県)



環境大臣賞

ネットヨタ山形株式会社

(山形県)



優秀賞

(都道府県順)

事業部門

SBS 三愛ロジ東日本株式会社 東北中央支店迫営業所

(宮城県)



磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所

(福島県)



国際自動車株式会社城南 羽田営業所

(東京都)

三重執鬼株式会社 本社営業所

(三重県)

一般部門

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

(東京都)

沖縄トヨタ自動車株式会社

(沖縄県)



優良賞

(都道府県順)

事業部門



株式会社エネックス 北海道支店

(北海道)



平沢運輸株式会社 磯子営業所

(神奈川県)



株式会社エネックス 東北支店 青森営業所

(青森県)



株式会社テルサウエイズ 岩瀬営業所

(富山県)



カメイ物流サービス株式会社 多賀城営業所

(宮城県)



星崎運輸株式会社 金沢支店

(石川県)



株式会社エネックス 新潟支店 庄内営業所

(山形県)



東洋運輸株式会社 岐阜営業所

(岐阜県)



磐城通運株式会社 平支店

(福島県)



東和通商株式会社

(静岡県)



磐城通運株式会社 湯本支店

(福島県)



松葉倉庫運輸株式会社

(静岡県)

SBS 三愛ロジ東日本株式会社 福島営業所

(福島県)



有限会社クリヤー梱包

(愛知県)



株式会社トレンディ茨城

(茨城県)



平野商運株式会社

(愛知県)



株式会社エスティーシステム 水戸営業所

(茨城県)



小西運送株式会社

(三重県)

F-LINE 株式会社 栃木物流センター

(栃木県)



大阪北運輸株式会社 大阪営業所

(大阪府)

相川運送有限公司 本社営業所

(東京都)



南海バス株式会社 井高野営業所

(大阪府)

一般部門

さいたま市役所

(埼玉県)

ネスレ日本株式会社 営業本部 東京支社

(東京都)

株式会社エコワスプラント

(東京都)

株式会社トヨタレンタリース名古屋

(愛知県)



審査委員長特別賞

(都道府県順)

ユニーク部門

株式会社空知自動車学園

(北海道)

一般社団法人日本建設業連合会

(東京都)

エコドライブ優良活動認定事業者一覧

(都道府県順)

昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、
今年度も同水準を継続している事業所および
一定レベル以上の活動をしていると評価された事業所を認定するものです。



事業部門

幸楽輸送株式会社 札幌事業部 札幌営業部 輸送課	(北海道)	株式会社パル横浜 横浜営業所	(神奈川県)
株式会社丸運トランスポート札幌	(北海道)	上越運送株式会社	(新潟県)
花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所	(北海道)	新潟陸運株式会社	(新潟県)
株式会社エネックス 東北支店 八戸営業所	(青森県)	インパックスロジスティクス株式会社	(新潟県)
SBS 三愛ロジ東日本株式会社 南東北支店 物流センター東北	(宮城県)	第三貨物自動車株式会社	(新潟県)
三愛ロジスティクス株式会社 宮城営業所	(宮城県)	星崎運輸株式会社 富山営業所	(富山県)
磐城通運株式会社 小名浜支店	(福島県)	南信州広域タクシー有限公司	(長野県)
磐城通運株式会社 小名浜支店 小名浜製錬営業所	(福島県)	西濃運輸株式会社	(岐阜県)
磐城通運株式会社 植田支店	(福島県)	株式会社ダイコー商運	(静岡県)
光和輸送株式会社	(埼玉県)	株式会社エネックス 大井川営業所	(静岡県)
青翔運輸株式会社 本社営業所	(埼玉県)	日東運送株式会社	(愛知県)
株式会社東配	(埼玉県)	有限会社裕進運輸	(三重県)
佐川急便株式会社 成田営業所	(千葉県)	株式会社ケン・トップカーゴ	(滋賀県)
平沢運輸株式会社 千葉営業所	(千葉県)	株式会社福田物流	(大阪府)
株式会社ロジパルエクスプレス	(東京都)	扇町運送株式会社	(大阪府)
有限会社古川商事運輸 本社営業所	(東京都)	株式会社エネックス 西日本支店 姫路営業所	(兵庫県)
国際自動車株式会社城西 三鷹営業所	(東京都)	菱華運輸株式会社	(兵庫県)
日本トラック株式会社	(神奈川県)	内外運輸株式会社 西原営業所	(沖縄県)
小林運輸株式会社 本社営業所	(神奈川県)		

一般部門

株式会社サンゲツ	(愛知県)	久屋産業株式会社	(福岡県)
清水長金属工業株式会社	(京都府)	株式会社トヨタレンタリース熊本	(熊本県)
株式会社 GE	(大阪府)		

二次審査応募事業者一覧

(都道府県順)

事業部門

北海道中央バス株式会社 余市営業所	北海道	上野輸送株式会社 本社	神奈川県
株式会社エネックス 北海道支店 石狩営業所	北海道	株式会社関根エンタープライズ神奈川 横浜営業所	神奈川県
株式会社エネックス 北海道支店 苫小牧営業所	北海道	F-LINE株式会社 厚木物流センター	神奈川県
北海道中央バス株式会社 滝川営業所	北海道	株式会社エネックス 新潟支店	新潟県
北海道中央バス株式会社 真栄営業所	北海道	東西運輸株式会社 東港営業所	新潟県
札幌第一観光バス株式会社 本社営業所	北海道	株式会社ヒスコム 砺波LC営業所	富山県
しらいトランク・サポート株式会社 本社営業所	北海道	ののいちバス株式会社 本社営業所	石川県
空知中央バス株式会社 岩見沢営業所	北海道	安房運輸株式会社 金沢営業所	石川県
北海道中央バス株式会社 札幌北営業所	北海道	敦賀観光バス株式会社 本社営業所	福井県
北海道中央バス株式会社 色内営業所	北海道	ラニイ福井貨物株式会社 区域事業部	福井県
日晶運輸株式会社 本社営業所	北海道	長野石油輸送株式会社 本社営業所	長野県
北海道中央バス株式会社 千歳営業所	北海道	濃飛西濃運輸株式会社 本社	岐阜県
北海道中央バス株式会社 平岡営業所	北海道	静岡石油輸送株式会社 富士営業所	静岡県
北海道中央バス株式会社 札幌東営業所	北海道	株式会社エネックス 中部支店	愛知県
北海道中央バス株式会社 新川営業所	北海道	株式会社オーエストランス 本社営業所	愛知県
北海道中央バス株式会社 西岡営業所	北海道	星崎運輸株式会社 本社営業所	愛知県
北海道中央バス株式会社 江別営業所	北海道	豊中運輸株式会社 本社営業所	愛知県
北海道中央バス株式会社 石狩営業所	北海道	株式会社陽光 犬山物流センター	愛知県
北海道中央バス株式会社 旭川営業所	北海道	株式会社アスラック 飛鳥営業所	愛知県
伊達貨物運送株式会社 仙台支店	宮城県	岡大物流株式会社	愛知県
株式会社エネックス 東北支店	宮城県	株式会社ユーティー・サービス 本社営業所	愛知県
トヨタ輸送株式会社 仙台営業所	宮城県	中川運輸株式会社 本社営業所	三重県
株式会社エネックス 東北支店 秋田営業所	秋田県	株式会社ファイノ流通 本社営業所	三重県
株式会社北福島タクシー 本社	福島県	株式会社エネックス 四日市営業所	三重県
日本液体運輸株式会社 鹿島支店	茨城県	滋賀観光バス株式会社 八日市営業所	滋賀県
筑波運輸株式会社 本社営業所	茨城県	滋賀観光バス株式会社 長浜営業所	滋賀県
株式会社エネックス 茨城営業所	茨城県	滋賀観光バス株式会社 甲西営業所	滋賀県
平沢運輸株式会社 石橋営業所	栃木県	滋賀観光バス株式会社 京都営業所	京都府
日本陸送株式会社 本社営業所	群馬県	銀鈴タクシー株式会社 本社	京都府
株式会社エスティーシステム 草加営業所	埼玉県	京都かんきょう株式会社 本社営業所	京都府
共同物流株式会社 本社	埼玉県	ニシリンク株式会社 本社	大阪府
株式会社トーハイ 所沢センター	埼玉県	株式会社さくらコーポレーション 堺支店	大阪府
株式会社明和油送 埼玉営業所	埼玉県	大阪トヨペットロジスティック株式会社 本社	大阪府
株式会社丸運トランスポート東日本 千葉支店市原営業所	千葉県	滋賀観光バス株式会社 大阪営業所	大阪府
花王ロジスティクス株式会社 沼南営業所	千葉県	大和物流株式会社 大阪支店	大阪府
平沢運輸株式会社 市原営業所	千葉県	株式会社エネックス 西日本支店	大阪府
SBSフレックネット株式会社 関東物流統括部 千葉営業所	千葉県	千里山バス株式会社	大阪府
株式会社エネックス 関東支店	千葉県	鴻池運輸株式会社 陸運大阪営業所	大阪府
株式会社エネックス 関東支店市原営業所	千葉県	株式会社藤急エクスプレス 東大阪営業所	大阪府
国際自動車株式会社新宿 落合営業所	東京都	株式会社宮田運輸 高槻事業所	大阪府
竹内運輸工業株式会社	東京都	佐川急便株式会社 明石営業所	兵庫県
国際自動車株式会社城西 吉祥寺営業所	東京都	有限会社ヤマサン 本社営業所	奈良県
小田急シティバス株式会社 世田谷営業所	東京都	株式会社エネックス 西日本支店 水島営業所	岡山県
株式会社メッドトラスト東京 本社業務部	東京都	杉本道路株式会社 運輸部	岡山県
成友興業株式会社 本社営業所	東京都	株式会社サンエストランテック 長崎事業所	福岡県
成友興業株式会社 城南島第一事業所	東京都	株式会社エネックス 西日本支店 九州営業所	福岡県
株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	東京都	株式会社サンエストランテック 八代事業所	福岡県
株式会社ニヤクコーポレーション オペレーション統括グループ	東京都	株式会社サンエストランテック 福岡事業所	福岡県
SBSJコーロジスティクス株式会社 物流センター厚木	神奈川県	株式会社サンエストランテック 北九州事業所	福岡県
株式会社アスカ・コーポレーション 厚木支店	神奈川県	松藤商事株式会社	福岡県
大光陸運株式会社 川崎営業所	神奈川県	株式会社サンエストランテック 大分事業所	福岡県
新栄運輸株式会社 本社営業所	神奈川県	株式会社トーカイ物流	福岡県
日京運輸株式会社 鶴見営業所	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 福岡北営業所	福岡県
国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	神奈川県	大和物流株式会社 福岡支店	福岡県
株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	神奈川県	株式会社ユタカ産業 本社営業所	鹿児島県
山村ロジスティクス株式会社 運輸営業部	神奈川県	南国輸送株式会社 鹿児島石油営業所	鹿児島県

一般部門

株式会社福島マツダ	福島県	ダイキン工業株式会社 名古屋ビル	愛知県
昭和産業株式会社 本社	東京都	美樹工業株式会社 本店	兵庫県
森永乳業株式会社 首都圏支社	東京都	株式会社フクナン開発 事業本部	福岡県
社会医療法人社団 愛有会三愛病院	東京都	株式会社メディクリーン	福岡県
ダイキン工業株式会社サービス本部 中部サービス部	愛知県	株式会社オオマス 本社	熊本県
テクノエイト株式会社	愛知県		

上位受賞事業者の取組事例紹介



茨城流通サービス株式会社

所在地：茨城県古河市丘里14-4
業務内容：運輸業(トラック)
拠点数：1
従業員数：60名
車両数：54台
活動実績：13年



日常の中で無理せず取り組むエコドライブ

「日常の中で無理せず取り組む」をコンセプトに、エコドライブ活動を13年間継続し、東京都貨物輸送評価制度では8年連続三つ星を獲得。

少人数で行うエコドライブ会議の実施やPDCAサイクルに沿った燃費管理の徹底など、日常業務の中で行える取組を数多く実践。

地道な取組を通してドライバーの **自主的な活動** を促すことで、1人1人の意識を醸成し、全社一丸となったエコドライブ活動を実現。

エコドライブ活動の成果

2005年度比

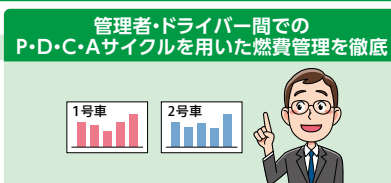
**22%燃費向上
(中型車)
無事故継続
(重大事故)**

受賞事業者の声

エコドライブ活動コンクールでは3度目の最高賞受賞となりました。
長年続けてきた弊社の活動を、今後とも発展させていきたいと思っています。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・エコドライブの実践を組み込んだ環境方針を策定
	組織・体制	
	目標・計画 周知・説明 点検・整備	・エコドライブ推進会議で目標を決定 ・輸送品質向上研修会や班会議などの集合教育で計画・目標を共有 ・整備管理者を含めた車両点検整備チームを設置
教育の実施	環境問題	・環境方針を明記した「乗務員安全カード」を全社員が携帯
	教育計画 教育資料 教育記録	・年間目標に基づいた月間の教育スケジュールを策定し、実施状況を毎月確認 ・トラック協会やディーラー作成のマニュアルのほか、自社データも活用 ・集合教育実施後は必ず報告書を作成し、乗務員の意見などを記録・保管 ・外部講習会へ積極的に参加
	外部セミナー マイカー教育	
燃費管理	燃費目標	・車両毎の燃費目標のほか、全体の目標値として前年度比1%UPを掲げる
	燃費管理	
	燃費分析 教育活用 過去履歴	・エコドライブ走行管理・点検整備記録表に乗務員が手書きで記入 ・給油データを集計し、拠点別、車種別、車両毎で燃費結果を分析 ・社内イントラネットにて毎月燃費結果を公開し、拠点での教育に活用
活動成果	燃費向上	・2005年度比で22%燃費が向上(中型車)
	事故管理 成果の周知 対外活動	・事故件数の管理に加え、各月のドライバーごとの車検・修理費を管理 ・活動成果は集合教育や社内掲示を通して全社員に周知
	社員評価	
継続実績と方策	活動実績	・2006年より活動開始
	活動見直し 独自工夫	・年度初めにエコドライブ活動目標・計画を策定。活動成果に基づいて、随時見直しを実施 ・エコドライブ活動の成果をドライバーに示すため、燃費向上によるコスト低減を試算、可視化
	認証登録	・エコカー等



エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価
ポイント

共同輸配送により積載率を上げ、使用燃料と排出ガスを大幅に削減

環境にやさしい共同輸配送「エコネット便」

様々な荷物を同方面ごとに積み合わせて配送する共同輸配送サービスを15年ほど前から主力事業としている。主な荷物はフィルム・金属性の部品・梱包材などの工業製品で、容積が小さいが重たいものと、容積は大きいが軽いものを積み合わせて配送。

積載率をあげ効率的に輸送を行うことで燃料使用量と排出ガスを大幅に削減。



エコネット便

教育の実施

評価
ポイント

ドライバーが自らの運転を見直し、対策を講じる仕組み

目標未達成のドライバーに着目した「1Weekチャレンジ」

燃費目標が未達のドライバーを対象とし、給油・燃費・配達コース・天気などの記録を1週間実践してもらう取組。所定の用紙に記載することですべての項目を一目で確認でき、1日の運転の振り返り、燃費が向上しない原因について自ら考えるきっかけとなる。

燃費が伸び悩むドライバーに着目した活動を行うことで、会社全体で燃費の底上げに成功。



1Weekチャレンジ

教育の実施

評価
ポイント

全社一丸となってエコドライブに取り組むための教育体制を構築

ドライバー主体のエコドライブ会議

月に1度ドライバー主体の班会議を開催。燃費データを活用し、個人の燃費達成状況の確認や今後の対策などを協議。さらに、マイカーのエコドライブに関する資料を配付し、トラック同様マイカー使用時のエコドライブやエコ通勤を推奨。全ドライバーが集まりやすい土曜日に、各勤務シフトに合わせて実施。

その他にも、輸送品質向上研修会や班長会議などを定期的に開催。充実した集合教育と全員が受講しやすい工夫をすることで、全社一丸となったエコドライブ活動を継続。



輸送品質向上研修会

活動成果

評価
ポイント

活動活性化のための外部講習参加と、社外に向けたエコドライブ啓蒙活動の実績多数

外部講習会の受講と、自社取組事例の発信

ドライバーの外部講習会等への参加を年間教育計画に盛り込み、トラックメーカーの実技講習会や茨城県トラック協会主催の中央研修会へ数多くのドライバーを派遣。さらに参加者の報告や意見を社内でも共有し、更なる運転技術の向上のため活用。

また、セミナーや研修などの場で積極的に自社事例の発表を行い、エコドライブの推進を社外に向けて広く啓蒙。



自社事例発表



ネットヨタ山形株式会社

所在地：山形県山形市東青田5-1-1
業務内容：サービス業
拠点数：15
従業員数：315名
車両数：315台
活動実績：5年



全社員が参加する「ネット・セーフティー&エコドライブ」

2014年に全社を挙げてのエコドライブ活動をスタート。社員へのエコドライブ活動の推進はもちろん、顧客や企業向けの啓蒙活動も積極的に行い、社内・社外の2本柱でエコドライブ活動を継続。

また、社員が楽しんで活動に参加できるよう「マイカーも対象としたエコドライブコンテスト」などの工夫を凝らした取組を実施。

近年は子ども向けのエコドライブ教室に社員が講師として参加するなど、活動の幅を広げている。

エコドライブ活動の成果

2014年度比

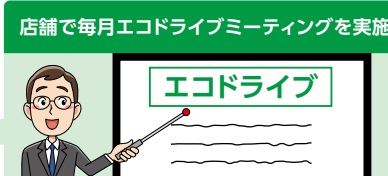
22%燃費向上
事故件数62%削減
(すべての事故)

受賞事業者の声

この度は、環境大臣賞を頂き、大変ありがとうございます。今後もエコドライブを通し、お客様のお役に立てるよう活動していきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・CSR基本方針に基づき、全15店舗でエコドライブを推進	業務管理システムを利用し、 社有車・従業員車両の定期点検時期を管理
	体制・目標	・本社総務部および各店舗の環境マイスター資格者を中心とした活動体制	
教育の実施	点検・整備		
	環境問題	・ショールームへの啓発ポスター掲示・チラシ配布など、顧客に向けた啓蒙活動を実施	店舗で毎月エコドライブミーティングを実施
	教育資料	・山形県自動車公益センター提供の資料や「エコドライブ10のすすめ」などを社内教育に活用	
燃費管理	燃費管理	・スマートフォンやPCからアクセスできる燃費管理サイト「やまがたカーライフ・エコ」を利用	燃費結果を 毎月ランキング形式でフィードバック
	燃費目標		
活動成果	燃費向上	・2014年度比で、22%燃費が向上	無事故・無違反店舗を表彰
	事故管理		
継続実績と方策	対外活動	・各店舗でのお客様向けのエコドライブのほか、企業向けの出張エコドライブ教室を開催	社内でエコドライブコンテストを開催し、 成績優秀者を表彰
	活動実績	・2014年4月より活動開始	
	エコカー等		
	独自工夫		



拠点別燃費提出状況			
	4月	5月	6月
A 営業所	1位	2位	3位
B 営業所	2位	3位	1位
C 営業所	1位	2位	3位



エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



正しい知識を持った資格保有者が活動をけん引する仕組み

プロのカーライフサポーターとしてエコドライブを習得

2014年にエコドライブ活動をスタート。地球温暖化防止活動の推進、エコドライブの周知徹底などを目的とした「環境マイスター」資格制度を社内導入。資格保有者は店舗での教育を担当し、社内でのエコドライブ活動をけん引。資格取得のための第一歩として、新入社員は毎年行う入社後の研修でエコドライブの方法を習得。正確な知識を持ち、プロとしてお客様のカーライフをサポートすることで、経営理念である「山形一の私のお家のクルマやさん」の実現を目指す。



新入社員研修



教育の実施



楽しみながら全社でエコドライブに取り組める工夫

マイカーも対象とした全員参加のエコドライブコンテスト

毎年、社有車とマイカーを対象とし燃費を競うコンテスト「ネット・エコドラ・コンテスト」を開催。1ヶ月当たりの平均燃費とリットル当たりの最高燃費を車種・車格別に4部門で集計し、年間を通して成績優秀な個人および店舗を表彰。マイカーも対象とすることで、全社員が参加することができ、通勤時や休日の運転におけるエコドライブ意識も醸成。

また、こまめに成果を確認することで、社員が楽しみながら積極的に参加できるよう、1ヶ月毎のランキング速報を各店舗に展開。



ネット・エコドラ・コンテスト



継続実績と方策



安全運転もテーマに加え、個人だけでなく企業に向けてエコドライブを推進

企業向け「ネット・セーフティー&エコドライブ教室」の開催

顧客に向けたエコドライブ教室のほかに、取引先企業を対象とした出張型の企業向けエコドライブ教室を開催。普段の運転とエコドライブ実践時の燃費を測定し比較する実技講習と併せて、セーフティー&エコドライブの運転方法を学ぶ座学講習を実施。

エコドライブの正しい知識を学び、交通安全との関連性を知ること、自分の運転を見直してもらい、安全意識を向上させるねらい。



ネット・セーフティー&エコドライブ教室



継続実績と方策



地域の幅広いエコドライブ活動に参画

「こどもエコドライブ教室」への講師派遣

山形県と一般社団法人日本自動車販売協会連合会 山形県支部主催の「こどもエコドライブ教室」に、地球温暖化コミュニケーターの資格を有する社員を講師として派遣。

参加した子どもたちは地球温暖化の現状やエコドライブの効果についてクイズ等を交えながら学習し、「今できること=伝えられること」として、学んだ知識を身近な大人に伝えることでエコドライブを推進。



こどもエコドライブ教室



SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北中央支店迫営業所

所在地：宮城県登米市迫町佐沼南散田255
業務内容：運輸業(トラック)
拠点数：1
従業員数：25名
車両数：5台
活動実績：11年



コミュニケーションを重視する全員参加のエコドライブ活動

リコーグループ環境方針の下、2008年からエコドライブ活動を開始。毎朝の朝礼で自社の方針を唱和し、全員参加で取り組むエコドライブ活動を継続して展開。
デジタルタコグラフのデータをもとにした燃費管理や、**コミュニケーション型のドライバー教育**を行うほか、マイカーでのエコドライブ推進にも力を入れるなど積極的に活動を行う。

エコドライブ活動の成果

2014年度比
**4%燃費向上
(中型車)
無事故継続
(すべての事故)**

受賞事業者の声

継続してきた活動が評価され優秀賞を受賞することができ、とても光栄です。
今後もエコドライブ活動を継続し更なる向上を目指します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	・リコーグループ環境方針の下、エコドライブ活動を推進 ・エコドライブ推進管理者を中心とした活動体制を整備 ・前年比で1%燃費向上を掲げる ・目標や計画、組織図などを社内掲示するほか、ドライバーミーティングにて周知	日常点検マニュアルを作成し、点検方法を周知徹底
	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	・全従業員に「環境ポケットブック」を配布 ・環境活動計画書にて年間の教育計画を策定 ・トラック協会資料やエコドライブDB・DVDを社内勉強会にて活用 ・省エネ運転教育記録やドライバー添乗指導実施記録のほか、各種議事録を作成・保管	外部のエコドライブ講習へ全員が参加、参加者の意見を活動に反映
燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	・デジタルタコグラフのデータから燃費を算出 ・車両毎で目標に対する達成状況を確認 ・月次の乗務員ミーティングで燃費実績をフィードバック ・活動開始から現在までの全ての燃費データを車両別・ドライバー別に管理	前年比1%向上を目標として設定
	燃費向上 事故管理	・2014年度比で4%燃費が向上(中型車)	毎月の事故件数をコストと共に管理
活動成果	成果の周知 対外活動 社員評価	・社内イントラネットにて燃費結果や活動状況の確認が可能 ・独自の社内ライセンス制度によるドライバー評価	次年度計画のため、毎年、活動内容・目標を見直し
	活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録 エコカー等	・2008年より活動開始 ・従業員が業務改善案を提出し、従業員同士で評価をしあう「KAIZEN」活動を毎月実施 ・1997年より、ISO14001を取得 ・車両の入替時、安全やエコドライブをサポートするオプションを積極的に導入	

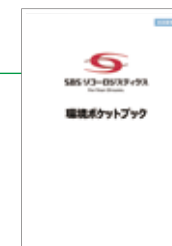
エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 環境方針の唱和を習慣化し、目標や取組内容を全従業員に浸透させるねらい

「環境ポケットブック」唱和でエコドライブ意識醸成

全従業員に配布されている「環境ポケットブック」には、リコーロジスティクスグループの環境理念や方針、エコドライブをはじめとした環境保全のために行っている改善活動の内容を掲載。毎日の朝礼時に必ず読み合わせを行い、議事録も作成・保管。
習慣的に活動理念や方針、目標を確認することで全員参加型の環境活動を実現。



環境ポケットブック

教育の実施

評価ポイント コミュニケーションを重視した教育と効果的なフィードバックの実施

「ドライバーランキング」を活用したコミュニケーション型教育

毎月行われるドライバーミーティングでは、環境問題についての講義や燃費数値のフィードバックなどを実施するとともに、デジタルタコグラフの情報を活用した「ドライバーランキング」を作成し、結果を周知。さらに、ディスカッションの時間を設けるなど、ドライバー同士のエコドライブや安全に関するコミュニケーションの充実を図っている。
また、毎点呼時にはデジタルタコグラフによる運転診断結果のフィードバック、KYT(危険予知トレーニング)を実施。定期的な教育やフィードバックによりエコドライブ意識を醸成。



ドライバーミーティング

活動成果

評価ポイント マイカー運転時のエコドライブにも力を入れた教育

全員で取り組むマイカーのエコドライブ

マイカー通勤者が従業員の9割を超えることから、社有車だけでなく、通勤・帰宅時や休みの日など、マイカー運転時のエコドライブについても積極的に教育を実施。
教育資料を使用したKYTの実施のほか、朝礼で通勤途上でのヒヤリハット事例を共有するなど、様々な取組を通してエコ・安全運転の推進を図る。



教育資料

継続実績と方策

評価ポイント 燃費未達成車両にスポットを当て、運行状況の検討・分析を実施

徹底した燃費管理と結果分析

燃費はデジタルタコグラフのデータをもとに車両別実績管理表にデータを入力し、管理・分析を実施。毎月の燃費結果はグラフ等を作成したうえで従業員教育の場で周知。
さらに燃費目標未達成および最下位の車両については、ドライバーミーティングにて走行ルートや運行状況を確認し、理想的な走行との違いを検証・分析。今後の燃費向上につなげるねらい。



デジタルタコグラフの分析結果



磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所

所在地：福島県いわき市岩間町塚原76常磐火力産業株式会社内
業務内容：運輸業(トラック)
拠点数：1
従業員数：21名
車両数：21台
活動実績：14年



ドライバーが自主的に取り組める環境づくり

京都議定書をきっかけに、2002年よりエコドライブ活動を開始。グリーン経営認証に基づいた環境行動計画のもと、**点検整備連絡シートを活用**した車両管理費の削減や社内エコドライブコンテストの開催など、全社一丸となって様々なエコドライブ活動を継続して実施。

ドライバーのやる気を引き出し、自ら進んでエコドライブを実践できる雰囲気づくりを推進。

エコドライブ活動の成果

2004年度比
**23%燃費向上
(大型車)
無事故継続
(すべての事故)**

受賞事業者の声

2度目の受賞を大変喜ばしく思っております。
従業員一丸となって取組を深化させていきたいと考えております。

エコドライブ活動 主な基本取組

	取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	・環境方針及び環境管理体制図を事務所・休憩室に掲示 ・環境保全活動における役割を明確するため、組織図・業務分担表・管理体制表などを作成 ・環境行動計画に基づき、毎年具体的な目標と達成のための活動スケジュールを作成	環境方針などを明記した グリーン経営カードを全従業員に配布
	教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	・整備管理規定を策定し、整備管理者を中心とした車両管理体制を構築 ・教育資料を用い、ドライバー教育の場で環境問題について啓発 ・年間の教育スケジュールに基づき、毎月必ずドライバー教育を実施 ・トラック協会やエコモ財団提供の教育資料をドライバー教育に活用 ・月1回のドライバー教育時、議事録を作成、実施写真とともに保管	グリーン経営のリーダー研修会や ディーラー主催のエコドライブ体験講習会に参加
	燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	・車両毎に燃費目標を設定 ・月間の総走行距離と総給油量から燃費を算出 ・車格毎、車両毎の燃費を算出 ・2005年より燃費データを構築	車両毎の燃費推移グラフを作成し、 燃費実績とともに掲示
	活動成果	燃費向上 事故管理	・2004年度比で23%燃費が向上(大型車)	「福島議定書」に毎年参加
	継続実績と方策	成果の周知 対外活動 社員評価 活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録 エコカー等	・事故発件数や修繕費の推移を管理 ・燃費実績や推移グラフを社内に掲示し、従業員へ周知 ・毎年10月に「エコドライブ・コンテスト」を開催し、燃費目標達成者を表彰	地球温暖化防止の 福島議定書
			・2005年7月より活動開始	毎年取組内容を見直し、目標を設定
			・ドライバーの意見を記録するノートを作成、活動内容の見直しなどに活用 ・グリーン経営認証を継続して取得	今年度目標

エコドライブ活動 主な応用取組



取組体制の整備



評価
ポイント

全社一丸となって堅実に取り組むエコドライブ

グリーン経営認証に基づいた環境マネジメントを長年継続

グリーン経営認証に基づき、全社統一の環境行動計画を毎年策定しており、所長を責任者とした推進体制のもと、店所ごとにエコドライブ活動を推進。

毎年実施される社内エコドライブコンテストでは個人表彰のほか、優秀な店所も表彰。

全社で同じ目標を掲げながら、競争する仕組みを作ることで店所同士が切磋琢磨し、成長しあえる環境づくりを実践。



環境行動計画書



教育の実施



評価
ポイント

マイカーのエコドライブも推進する取組

エコドライブ通勤チェックシートの運用

エコドライブ10のすすめを自社オリジナルでアレンジした「エコドライブ推進12項目」から一部を抜粋し、マイカー通勤時のエコドライブチェックシートを作成・運用。毎月ドライバー自身が自己採点を行い、チェックシートを提出。

業務外でのエコドライブ意識も醸成する工夫。



エコドライブ通勤チェックシート



継続実績と方策



評価
ポイント

ドライバーの意見を取り入れることで、
日頃から安全・エコドライブを意識させる工夫

安全情報マップを通じたエコドライブ意識の醸成

輸送協力会社と合同で取り纏めた安全情報マップを、自社のエコドライブ教育にも活用。マップをもとにドライバーへの添乗指導を実施し、荷下ろし先や輸送経路におけるヒヤリハットなど、ドライバーからの意見をマップに反映。

ドライバーはこのマップを常に携帯し、運行時に確認することで、安全の意識だけではなく、エコドライブ意識も醸成。



安全情報マップを使用したドライバー教育



継続実績と方策



評価
ポイント

コミュニケーションによる
ドライバーのモチベーション維持がねらい

現場パトロールによる声掛けの実施

管理者による現場パトロールを定期的に行い、安全運転と併せてエコドライブ実施確認を声掛け。直接顔を合わせて声を掛けることで、安全運転やエコドライブに対する意識の向上と、ドライバーのモチベーション維持を図る。

その他小集団ミーティングや点呼などのコミュニケーションの場を大切に、ドライバーのやる気を引き出す雰囲気づくりを目指す。



現場パトロール



国際自動車株式会社城南 羽田営業所

所在地：東京都大田区平和島5-8-3
業務内容：運輸業(タクシー)
拠点数：1
従業員数：835名
車両数：338台
活動実績：5年



楽しく取り組むエコドライブ

車両を乗り換えることが多いため、燃費と併せて急ブレーキ・急減速の回数を管理。それらを急ブレーキ時にお客様が発した言葉から「おっと」と名付け、社内のエコドライブ指標として活用。年間の「おっと」回数を集計し、その結果をもとに **エコドライブキャンペーンを開催** するなど、活動目標としている「楽しく良い雰囲気で行うエコドライブ」を実践。
ハイブリッドLPG車の導入率は100%を達成。

エコドライブ活動の成果

2014年度比
59%燃費向上 (LPG車)
事故件数13%削減 (重大事故)

受賞事業者の声

この度は優秀賞を受賞することができ、とても光栄に思っております。業界紙にも大きく取り上げられ沢山の反響がありました。次に向かっての良いモチベーションになりました。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画	・経営トップを環境保全責任者とし、全従業員に対し環境理念・環境活動方針を周知 ・エコドライブ推進責任者にJAF認定エコ・アドバイザーの資格を持つ社員を配置 ・交通事故防止・エコドライブなどの月間重点項目及び計画目標を策定	出庫・帰庫時の点呼や集合教育で目標・計画を周知
	周知・説明 点検・整備	・敷地内に整備工場があり、車両の点検や不具合発生時は迅速な対応が可能	○番車 帰庫しました！
	環境問題	・車内に「エコドライブ推進について」ステッカーを貼付	エコドライブに関する年間教育計画を策定
教育の実施	教育計画 教育資料 教育記録	・急減速回数と事故件数の因果関係を示した教育資料を作成 ・「乗務社員教育記録」を毎月のドライバー教育の記録として作成・保管 ・JAF主催のエコ・アドバイザー養成講習会に参加	今年度計画
	外部セミナー マイカー教育	・マイカー運転時にもエコドライブを意識するように指導	車種別に明確な燃費目標を設定
	燃費目標	・タクシー管理システムにて燃費を管理 ・システム上で営業所や係、車両毎に分けて燃費を集計 ・燃費結果は集合教育や社内掲示にて展開 ・タクシー管理システムにて過去のデータを保管	1号車 2号車
燃費管理	燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴		年1回、無事故表彰を実施
	燃費向上 事故管理 成果の周知 対外活動	・2014年度比で、59%燃費が向上(LPG車) ・事故件数を過失割合毎に分析し、集合教育で展開 ・毎日の出庫点呼時・月1回の集合教育で燃費や事故件数などを振り返り ・ホームページに環境活動の取組内容を掲載	表彰状
	活動成果		2019年度内にすべての車両をLPG HV車両に代替
継続実績と方策	社員評価		
	活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録	・2014年より活動を開始 ・環境行動計画を毎年見直し ・急発進・急加速・急減速の回数を管理し、ドライバーの評価に活用 ・グリーン経営認証を2013年3月より継続して取得	LPG HV eco
	エコカー等		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

接客マナーと共に身に着けるエコドライブ意識

「HOSPITALITY BOOK」の策定

乗務に必要なマナーや心配りなどについてまとめたマニュアル「HOSPITALITY BOOK」を策定し、全社員に配布。プロドライバーの対応についてまとめたページに「ふんわりアクセル」「暖気運転は適切に」「タイヤ空気圧チェック」など、エコドライブに関する内容を記載。

お客様目線のコメントを入れるなどの工夫をし、乗務中のエコドライブ意識を醸成。



HOSPITALITY BOOK

教育の実施

評価ポイント

全ドライバーに統一の教育を行い、共通のエコドライブ意識を醸成

集合教育によるエコドライブ意識の浸透

全ドライバーを対象とした集合教育を毎月実施。JAF認定エコ・アドバイザー養成講習会を修了したエコドライブ推進責任者が指導を担当。年間教育計画表に基づき、決められたテーマに沿って安全運転やエコドライブについての教育を行うほか、活動成果のフィードバックなどを実施。

各勤務形態を考慮した日時に開催しており、当日参加率は8割以上。欠席したドライバーへも必ずフォローを実施。

年間教育計画表

燃費管理

評価ポイント

徹底した運用フローとシステムによる燃費管理

運行毎の燃費管理

ドライバーは乗務終了後、事所内のスタンドで給油したのち、運転日報に1日の燃費を計算・記入。班長が日報を回収、タクシー管理システムへデータを入力し、全車両の燃費を一括管理。

燃費データは分析を行い、結果を集合教育などで共有。帰庫時＝給油時に燃費を計算することで、運行毎の燃費の把握が可能。

運転日報

継続実績と方策

評価ポイント

楽しみながら活動を継続するための工夫

独自のエコドライブ指標「おっと」数によるエコドライブキャンペーン

急ブレーキがかかった時にお客様が言う「おっと」という言葉から、「おっと＝急ブレーキ・急減速」をなくそうと、年2回(5月、11月)エコドライブキャンペーンを開催。月間の「おっと」数をチーム単位で集計し、上位のチームを表彰。

車両は乗り換わりが多く燃費で評価することが難しいため、「おっと」の数をエコドライブの指標として活用。

キャンペーン後には炊き出しや抽選会を行うなど、毎年様々な企画を考え、楽しみながらエコドライブに取り組むことで、ドライバーのモチベーションを維持するねらい。



エコドライブキャンペーン



三重執鬼株式会社 本社営業所

所在地：三重県鈴鹿市地子町523-2
業務内容：運輸業(トラック)
拠点数：1
従業員数：142名
車両数：89台
活動実績：14年



地域に寄り添うエコドライブ活動

トラック輸送の環境負荷イメージを払拭したいという想いから、2005年よりエコドライブ活動を開始。マンネリ化防止のため、取組を随時見直し。数々の取組や成果を、毎月発行している「TORUK!(トルキ)通信」に掲載し、社員やその家族に広く周知。

さらに、地域社会との交流を重視しており、インターンシップの受入や地元保育園との交流、環境イベントへの参加などを通して、日ごろの感謝と共にエコドライブの重要性を伝えている。

エコドライブ活動の成果

2013年度比
**6%燃費向上
(中型車)**
**事故件数75%削減
(重大事故)**

受賞事業者の声

長年、エコドライブ活動を継続実施しており、社員教育にも力を入れて取り組んできました。優秀賞を頂きとても光栄です。この結果に満足することなく、今後も更なるエコドライブ活動を積極的に実施していきたいと思っています。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	- 組織・体制 - 目標・計画 - 周知・説明 - 点検・整備	環境方針に「エコドライブの推進」を明記
	環境問題	・ISO14001に基づいた環境マネジメント推進体制を整備 ・組織毎に目標を定め、全社で共有 ・定めた目標・計画を各事業所に掲示 ・安全ユニットが車両管理を担当	毎月1回外部のコンサルタントを招き、安全・環境に関するミーティングを実施
教育の実施	教育計画	・入社時にISO環境教育を実施。必ず全社員が受講 ・月1回の安全教育の場で、エコドライブに関する教育を実施 ・エコドライブ実施手順書を策定し、教育に活用 ・教育実施記録や受講者の意見を保管 ・ISO14001教育の中でマイカーのエコドライブ教育を行い、理解度テストも実施	毎月の燃費結果をドライバーに周知し、課題を共有
	外部セミナー	・マイカー教育 ・燃費目標 ・燃費管理 ・燃費分析 ・教育活用 ・過去履歴 ・燃費向上 ・事故管理	毎月発行される社内報で活動状況を全社員に周知
活動成果	燃費管理	・会社としての目標とは別に、毎月ドライバー自身が燃費目標を設定 ・走行管理表を用い、給油毎の燃費をドライバー自身が計算・記録 ・燃費の推移を車両毎・車格毎で分析	全車両にテレマティクスを導入
	成果の周知	・2005年より燃費データを構築 ・2013年度比で6%燃費が向上(中型車) ・2013年度比で事故件数が75%減少	
継続実績と方策	活動実績	・三重県の環境イベントに毎年参加し、エコ活動をPR ・毎年、無事故の個人・チームを表彰	
	活動見直し	・2005年より活動開始 ・活動目標・計画を毎年見直し ・毎年従業員から環境スローガンを募り、のぼりやポスターを作成。敷地内・休憩室などに掲示 ・ISO14001認証を取得	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

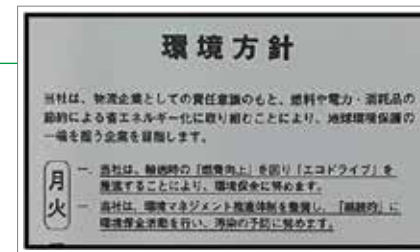
評価ポイント

自社独自のツールで環境方針を周知

環境方針を掲載したオリジナル社員手帳

「エコドライブの推進」を環境方針のひとつとして掲げており、全社へ広く周知するため、全社員が常に携帯する社員手帳に掲載。いつでも確認できるよう工夫。

また手帳には、全社員の顔写真などを掲載しているほか、月次のドライバーミーティングの出席簿も盛り込まれており、エコドライブ活動やコミュニケーションのためのツールとして活用。



社員手帳の環境方針

活動成果

評価ポイント

長年読まれ続けている社内報で、活動の状況を社員に展開

社内報「TORUK!(トルキ)通信」の発行

全社員に配布される社内報「TORUK!(トルキ)通信」を作成・発行。事務的な連絡事項だけでなく、環境保全に関する自社の取組内容や成果を写真入りで掲載し、エコドライブ活動の状況を周知するツールとして活用。

2009年から10年以上継続して発行しており、社員が自宅に持ち帰ることで家族も閲覧し、意見や感想などが寄せられることもある。



TORUK!(トルキ)通信

継続実績と方策

評価ポイント

独自の取組・工夫で社員のエコドライブ意識醸成

無事故を達成したチームにつなご米を贈呈

社員を少人数のチームに分けて活動を行っており、個人での無事故表彰のほか、無事故88日を達成したチームに地元産のお米を使用した「無事故つなご米」を贈呈する取組を2019年度から新たに開始。無事故つなごまい(つなごうよ)の意味を含めた取組で、社員からも好評。

新しい取組を取り入れることで、全社員が楽しみながらエコドライブ活動を継続していくねらい。



無事故つなご米

継続実績と方策

評価ポイント

様々な活動を通して地域社会への感謝を還元

社外活動への積極的な参加と地域貢献

無事故無違反の継続を目指し、三重県主催の「無事故・無違反チャレンジ123」、三重県トラック協会主催の「安全宣言200days」など地域の交通事故防止運動に、毎年全社員が参加。

また、環境フェアへの参加、インターンの受け入れや地元保育園との交流などを通して、環境保全やエコドライブの重要性を広く発信。

自社だけでなく、輸送業界のイメージ向上のため、幅広い環境活動を継続して実施。



環境フェアの様子



ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

所在地：東京都目黒区上目黒2-1-1中目黒GTタワー
業務内容：製造業（自動車以外）
拠点数：7
従業員数：150名
車両数：71台
活動実績：3年



「環境負荷低減」を目指す企業ビジョン

2015年事故発生件数が過去最多を記録したことをきっかけに、社内の安全運転への意識が高まり、エコドライブ活動を開始。2030年までに社用車の100%をEV自動車化する「EV100」に署名するなど、全社を挙げた活動を継続。

また、リース会社と連携して安全運転座学講習を開催し、安全やエコドライブに関する教育を行うなど、社員全員のエコドライブ意識を醸成する取組を数多く実施。

エコドライブ活動の成果

2016年度比

3%燃費向上
事故件数33%削減
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度は受賞ありがとうございます。
弊社では今後もSafety & ECO Driveの継続を活動指針として、より高い成果が挙げられるよう努力して参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・環境負荷を減らし、社会に貢献しながらビジネスの成長を実現する方法を示す「ユニリーバ・サステナブル・リビング・プラン」に基づいて活動を実施	交通安全管理委員会をトップとし、各営業所に車両安全運転管理者を配置 車両安全運転管理者
	体制・目標		
	点検・整備	・リース会社の専用システムにて全車両を一元管理	
教育の実施	環境問題	・車と地球環境に関する問題や環境負荷の軽減について、社内外に広く啓蒙	リース会社より提供されるエコドライブに関する教育資料を活用 エコドライブ
	教育資料		
燃費管理	教育実施	・トラベルセーフティミーティングを毎月実施	ドライバー自身が給油毎の燃費を記録 燃費管理表
	燃費管理		
	燃費目標	・車両のカatalog燃費に対する達成率(80%以上)を燃費目標として設定	
活動成果	燃費向上	・2017年度比で、3%燃費が向上(HV2000cc以下)	事故種別毎に事故発生件数を集計 事故件数を集計・分析
	事故管理		
	対外活動		
継続実績と方策	活動実績	・2016年より活動開始	寒冷地を除き、全台ハイブリッド車を導入 HYBRID HYBRID HYBRID
	エコカー等		
	独自工夫	・興味を持ってエコドライブ活動に取り組んでもらうため、座学講習の内容をブラッシュアップ	

エコドライブ活動 主な応用取組



取組体制の整備



評価
ポイント

リース会社と協力することで内容の充実した講習を実施

受講必須の安全運転座学講習

エコドライブ推進担当者が年2回(2月・9月)全国の各営業所を巡回し、通勤を含め車両を使用する社員に対して安全運転座学講習会を開催。

リース会社と協力し、様々な教育資料を使用して安全やエコドライブに関する教育を実施。なお、座学講習を受講していない従業員は、社用車の運転を認められない。



教育資料



燃費管理



評価
ポイント

徹底した燃費管理体制で入力漏れを防止

どこからでも簡単に燃費を入力・確認できる管理システム

燃費管理はリース会社の提供する燃費管理システムを使用しており、運転した社員自らが給油毎に燃費を入力。スマートフォンからでもアクセスが可能で、燃費実績もサイト内で確認可能。

マネージャー及び推進責任者が運行記録のチェックを行うほか、リース会社側のシステムでも異常と思われる走行データはアラートが出るようになっており、入力漏れを防止し、徹底した燃費管理を実現。



燃費管理システム



活動成果



評価
ポイント

安全運転の意識を持たせる工夫

定期的な情報共有メールの配信

年間安全カレンダーを作成しており、エコドライブ・安全運転に関するトピックスや、天候や災害などへの注意喚起などを安全管理者にメールで週次配信。また、事故の発生状況なども月次で配信される。

配信された内容はエリアマネージャーから社員へ都度フィードバックし、その結果を推進責任者へ報告する。本社から営業所、最終的に社員へと定期的な情報共有を行うことで、会社全体のエコドライブ意識を醸成。



年間安全カレンダー



継続実績と方策



評価
ポイント

社員同士でエコドライブのコツを共有

燃費優良者の表彰・事例の発表

燃費改善率で順位を付け、各営業所から1名ずつ年間の燃費優良者を決定。毎年2月に開催している安全運転座学講習会の中で表彰。活動に継続して取り組む社員のモチベーションを維持するねらい。

さらに、受賞者は講習会の中で自身が実践しているエコドライブのコツなどを発表。好事例を共有することで、他社員のエコドライブ技術向上の効果も期待される。



表彰式



沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1

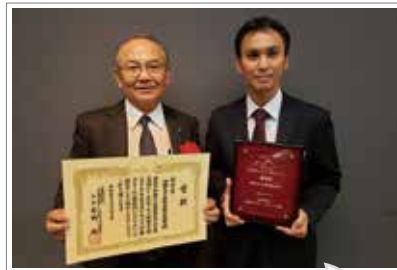
業務内容：サービス業

拠点数：16

従業員数：422名

車両数：346台

活動実績：7年



エコドライブの浸透＝安全運転の定着化

2011年、エコ宣言を実施し、翌年より本格的にエコドライブ活動をスタート。対外活動によるエコドライブの普及推進に力を入れており、2012年から7年間継続している **燃費王決定戦**を始め、企業向けエコドライブ講習など、顧客をはじめ社外に向けた様々な活動を行う。

また、エコドライブに関する社内資格制度や月に1度の社内教育、社内コンテストの実施など、内部での活動にも数多く取り組む。今後はグループ会社と連携した活動も実施予定。

エコドライブ活動の成果

2011年度比

30.2%燃費向上
事故件数46.2%削減
(人身事故・対物事故)

受賞事業者の声

この度の優秀賞の受賞は、共にエコドライブ活動を続けてきたお客様に支えられての受賞です。もっとお客様のご期待に添えるよう、沖縄県トヨタグループ全体でさらに活動を拡充して参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	全体取組		経営方針の一つとして エコドライブの実践を掲げる
	体制・目標	・CSR委員会の社会貢献部・環境対策部がエコドライブ活動の推進を担当	
 教育の実施	点検・整備	・各種点検・メンテナンス毎に実施基準を設定	
	環境問題	・エコドライブ10のすすめをもとにした啓発ポスターを作成・掲示	店舗毎にエコドライブ教育を実施
	教育資料	・毎月テーマに沿った教育資料を作成し、各店舗に配布	
	教育実施		
 燃費管理	燃費管理		スマートフォンやPCからアクセス可能な 燃費管理サイトにて管理
	燃費目標	・燃費目標は車両条件を考慮し個車毎に設定	
 活動成果	燃費向上	・2011年度比で30.2%燃費が向上	沖縄県主催の環境イベントに参加し、 エコカーをPR
	事故管理	・2013年度比で46.2%事故が減少	
 継続実績と方策	対外活動		燃費王決定戦に合わせ、社内で燃費を競う 「社内燃費王決定戦」を開催
	活動実績	・2012年より活動開始	
	エコカー等	・社有車の約9割はHV車もしくはアイドリングストップ車を導入	
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施

評価
ポイント

充実した社内教育によるエコドライブ意識の醸成

資格保持者による社内エコドライブ教育

「エコドライブマイスター」という資格を社内規定にて定めており、エコドライブに関する筆記・実技試験を通過した社員のみ資格が与えられる。

テーマに沿った教育資料が本社から各店舗に配布され、社内教育の場で全社員に内容を展開。

その他、新入社員向けのエコドライブ講習会も開催している。



教育資料



教育の実施

評価
ポイント

試乗を通してエコドライブを知る機会・始める機会を提供

試乗コースのマップに加えたひと工夫

各店舗で作成している顧客向けの試乗コースのマップに、エコドライブのコツや運転のポイントなどを掲載。

試乗の際に説明し、実践してもらう事で燃費の伸びや楽しさを実感してもらい、エコドライブを始めるきっかけにしようねらい。



試乗コースマップ



活動成果

評価
ポイント

自社の実績を活かした社外活動

講習会など企業向けエコドライブサポートを実施

各店のエコドライブ担当者が店舗で企業向けエコドライブ講習会を開催。その後申し込みがあった企業には出張形式で講習を実施。燃費管理サイトで収集したデータをもとに燃費の分析を行い、訪問・面談などを実施し結果のフィードバックやアドバイスを提供。

自社の活動の実績をもとに、エコドライブ活動に取り組む他企業のサポートも積極的に実施。



エコドライブ講習会風景



継続実績と方策

評価
ポイント

競争形式にすることで、楽しみながらエコドライブを実践

エコドライブコンテスト「燃費王決定戦」の開催

2012年より県内で広く参加者を募り、「燃費王決定戦」を毎年開催。決められた時間内にポイントを通過しながらエコドライブ走行を実践し、燃費を競うコンテスト形式。

従業員のほか一般の参加者が数多くエントリーし、2018年度の参加者は429名。各店舗での予選会実施後、本選を行った。

本選当日の様子は新聞やTV特番などで大きく取り上げられ、沖縄全体へのエコドライブ普及推進の効果も大きい。



燃費王決定戦



株式会社空知自動車学園

所在地：北海道滝川市大町2-15滝川市くらし支援課
活動目的：地域貢献・地域還元
参加規模：延べ47,700名
活動実績：3年



団体の概要

2016年より、滝川市が省エネやごみの削減、リサイクルなどを推進する市民運動「エコライフたしかわ（通称：エコたき）」を開始したことをきっかけに、地域貢献・地域還元の一環として、エコドライブに推進のための活動を開始。

自動車教習所の特性を活かし、これから車に乗り始める人や高齢ドライバーなど、様々な世代に向け、エコドライブに関する情報の発信やイベントを通じた普及・推進活動を実施。

受賞事業者の声

この度はこのような素晴らしい賞をありがとうございます。
エコドライブと安全運転は密接な関係があります。地域の交通安全を長く実現するために、これからもエコドライブを多くの人に広めていくよう務めていきます。

「エコドライブ」をテーマにした勉強会・講義の開催

エコドライブアドバイザーの資格を持つ職員が、安全運転とエコドライブの関連性、具体的な運転方法などを記載したオリジナルテキストを作成。毎週数回開催する自動車学校の「卒業式」にて、テキストを使用した「エコドライブ」学習会を実施。2018年までにのべ631名が受講。

また、高齢ドライバーを対象とした「高齢者講習」受講者で希望者にはエコドライブについての内容を講義し、受講者は年間約2,000名に及ぶ。これから運転を始める若者から高齢者まで幅広い層へエコドライブの推進・普及活動を実施。



高齢者講習



一般社団法人日本建設業連合会

所在地：東京都中央区八丁堀2-5-1
活動目的：地球温暖化防止
参加規模：日建連会員 142社
活動実績：17年



受賞事業者の声

審査委員長特別賞を頂き、大変光栄に思います。業界団体として、これからもより多くの建設業関係者のみならず、それ以外の多くの方々にもご理解頂けるように、分かり易く省燃費運転の意義や地球温暖化防止への取組の大切さを伝えて参ります。

団体の概要

日本建設業連合会は、建設産業の内外にわたる基本的な諸問題の解決に取り組み、技術の進歩と経営の改善を推進することで、建設産業の健全な発展を図り、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することを目的として設立された。

建設業界の環境行動指針として「建設業の環境自主行動計画」を策定しており、建設における設計、施工段階などでのCO₂削減活動に取り組んでいる。

「省燃費運転研修会」の開催

建設会社の環境担当者や協力会社の管理者・運転手等を対象に、「省燃費運転研修会」を2002年より継続して開催。油圧シャベルを中心とした重機およびトラックダンプの省燃費運転の講義（座学）や実技講習を行ったのち、最後に理解度確認テストを実施する形式をとっている。

過去に44回開催し、延べ3,051名が参加。講習の結果、平均19.9%の燃費改善率を打ち出し、効果を実証。



省燃費運転研修会の様子



進めよう！現場でCO₂削減ステッカー

重機の省燃費運転の普及・展開

省燃費運転研修会は学んだ内容を受講者が自社に持ち帰り、展開してもらうことを目的としている。重機の種類や作業毎に省燃費運転のコツをまとめた「わたしたちができる地球温暖化防止」を作成し、研修会で使用するほか、ホームページ上でも公開。その他にも省燃費運転のリーフレットや垂れ幕・ポスターなどを作成し、建設現場での掲示を推奨。実際に作業をする人のCO₂削減の意識向上を図り、省燃費運転の更なる普及を目指している。

明確な目標を掲げた「地球温暖化防止」活動

活動の目標として「施工段階で発生するCO₂排出量（原単位）※を1990年度を基準として、2020年度までに20%削減、2030年度までに25%削減」することを掲げている。

参加事業者から報告される年度毎の取組成果をもとに削減量を計算。2018年度時点で20.8%の削減を達成。今後も省燃費運転研修を目標達成のための主軸とし、活動を継続。

※施工高あたりのCO₂排出原単位（t-CO₂/億円）



CO₂排出量（原単位）の推移



エコドライブ動画

卒業後もエコドライブに触れてもらう工夫

自動車学校の卒業生など約1,100名が登録するメールマガジンで、指導員が持ち回りでエコドライブに特化した記事を作成し、毎月配信。

エコドライブのポイントを指導員が紹介する動画を添付するなど、工夫を凝らしながら卒業後も定期的にエコドライブを呼びかけることで、常に初心を思い出す環境を作り、安全運転の意識を醸成。

校外のエコドライブイベントにも積極的に参加

滝川市と共同で行っているイベント「交通安全の祭典 そらちWaiWaiフェスタ」にて、北海道環境生活部環境局協力のもと、高校生ボランティアチーム「エコ部」の部員とともにエコドライブシュミレータを用いた「エコドライブ体験コーナー」を出展。

大人から子供まで幅広い年代に体験してもらう事で、エコドライブへの興味・関心を持ってもらい、楽しみながら重要性の周知を図るねらい。



エコドライブ体験コーナー

エコドライブ活動の基本取組 「教育の計画」のイメージ

①教育計画の策定



教育年間計画

	安全	環境
1月	○○○○○○	○○○○○○
2月	○○○○○○	○○○○○○
3月	○○○○○○	○○○○○○
4月	○○○○○○	○○○○○○
5月	○○○○○○	○○○○○○
6月	○○○○○○	○○○○○○
7月	○○○○○○	○○○○○○
8月	○○○○○○	○○○○○○
9月	○○○○○○	○○○○○○
10月	○○○○○○	○○○○○○
11月	○○○○○○	○○○○○○
12月	○○○○○○	○○○○○○

安全

安全12項目の内容を基に、夏場の体調管理や、冬場のスリップ対策など季節に応じた教育計画を作成しましょう!

環境

環境法令やエコドライブに関する教育を座学だけでなく、できれば実技体験も踏まえて計画してみましょう。

教育年間計画の立案は会社の安全・環境保全において非常に重要なものとなります。
多くの会社は社長を中心に管理者が作成していると思いますが、できれば現場の乗務員の意見も取り入れるとより良い計画が作成できます。

②教育の実践



教育(ミーティング)時に抑えておきたいポイント

頻度

所用時間

ミーティングをどれぐらいのペースで実施するか、一回の所要時間はどれぐらいが妥当かなど、自社の環境によって創意工夫が必要です。

実施責任者

忙しい中でも責任をもって実施してもらうために、実際に教育する担当者をカリキュラム毎に選任しましょう。

使用する資料

オリジナル資料を作成するのが難しい場合は、公的団体が発行している資料などを各ホームページからダウンロードして活用しましょう。

記録方法

従業員の出欠状況や、教育内容などを議事録にまとめましょう。記録した議事録はしっかり保管しましょう。

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介 (都道府県順)

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例を紹介します。

》ふんわり運転一覧表

F-LINE株式会社 栃木物流センター

事業部門
優良賞

デジタルタコグラフの運行データから、ドライバー毎の「ふんわり発進・停止」回数を独自の基準で抽出。ふんわり発進・停止出来たかどうかの割合を月間で集計し、結果を掲示。ドライバーに自身の運転を振り返ってもらい、燃費向上につなげるねらい。



》サンクスカード

新潟陸運株式会社 本社営業所

事業部門
優良賞

月間の燃費結果を掲示するとともに、特に燃費向上に努めた乗務員に対し感謝の気持ちを伝える「サンクスカード」を進呈・掲示。自社オリジナルのツールで社内のコミュニケーションを活性化。

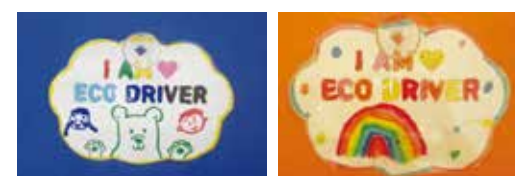


》静岡市エコドライバープロジェクト

ストップ温暖化!しずおか推進協議会

ユニーク部門
優良賞

「I AM ECODRIVER」と宣言するプレート子どもたちに手作りしてもらい、保護者の車に取り付けてもらうことでエコドライバーを増やそうというプロジェクトを実施。静岡市内外の環境イベントへの出展やプロサッカーチームとのコラボレーションなどを通して、現在までに約1,000人の子どもたちが参加。



》班毎の行動目標

東和通商株式会社 本社営業所

事業部門
優良賞

年1回、本社・神戸営業所合同の研修会を開催し、年間の燃費数値や事故について目標を確認。その後班毎で小集団のディスカッションを行い、達成するための行動目標を決定。ドライバー主体のエコドライブ推進体制を工夫して構築。

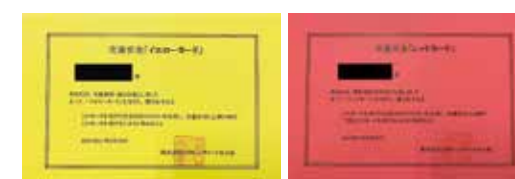


》交通安全ペナルティーカード

株式会社ヨタレンタリース名古屋

一般部門
優良賞

毎月開催の「交通安全推進委員会」にて、社内規定に基づき、交通事故・違反の発生情報を公開し、「交通安全ペナルティーカード」を発行。内容によって明確な懲戒基準を設け、社員の交通事故・違反撲滅への意識を醸成。



》「We Love Eco」運動

南海バス株式会社 井高野営業所

事業部門
優良賞

「We Love Eco」運動という親しみやすいネーミングで、社員のモチベーション向上による活動活性化のため、様々な取組を実施。社内表彰制度や、毎月10日を「We Love Eco」運動推進デーとし、活動成果の周知を行うほか、車両へのステッカー貼付やタスキの着用など、視覚的な施策も行う。



